

第2回庁舎建設市民ワークショップ報告

- 日 時 平成29年8月8日 18時～20時
- 場 所 地域交流センターゆう ミニホール
- 参加人数 15人

1. 第1回市民WSの結果と第2回市民WSのねらい

- ・ 第1回市民ワークショップの意見を庁舎建設に反映する整備方針を説明。
- ・ 第2回市民ワークショップでは、第1回市民ワークショップから受けた整備方針を具体的にするため、「市民交流スペースの空間・活用方法」について、議論してもらうことを説明。

2. グループディスカッション

(テーマ)

- ① 市民交流スペースの空間について
- ② 市民交流スペースの活用方法について

(議論方法)

- ・ カルタ方式で、5人程度のグループに分かれて、テーマに沿って議論を行う。
- ・ カルタは、他の庁舎や交流センターなどの交流スペース事例の写真を配り、参加者それぞれのイメージに近いものを選定し、新庁舎に取り込みたい空間・活用方法を具体化する。
- ・ 各グループでまとめた考えを全体で共有するため、最後にグループごとに発表を行う。

◆全体のまとめ◆

対象となる場	分類	キーワード (大分類)	キーワード (中分類)	コメント	基本計画での整備方針	
フリースペース	空間	デザイン	誇れるデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・インスタ映えするデザイン（人が訪れてみたくなるデザイン） ・オシャレな空間デザイン（shiroのようにオシャレなデザイン） 	《交流スペース》 自然や木のぬくもりを感じさせるなど、親しみやすくかつ利用しやすい空間デザインに配慮	
			温かみのあるデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・木材等、温かみ、ぬくもりのあるデザイン ・地場木材の活用 ・裸足で歩ける ・屋内でも緑を感じる（植樹）、周辺の自然を感じられる空間 		
		機能配置	使いやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ・使いやすい、気持ち良いデザイン 		《情報発信スペース》 行政情報のほか、文化・歴史、観光・イベントをはじめ、防災に係る情報などの各種情報を得られるコーナーの設置
			情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・ブラウジングスペース ・観光情報～subacoとの役割分担の明確化が必要 ・災害情報・防災情報が一目でわかる ・まちの歴史が分かる（地図で見る歴史など） 		
			飲食機能	<ul style="list-style-type: none"> ・軽食ができる、安くて早く食べられる ・カップや設えがオシャレ ・公民館の喫茶店と市庁舎のカフェの連携（スナカフェ） 		
		居心地のよさ	滞留を生む機能・空間	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯の充電ができる ・フリーwifi ・自由に使える空間 ・人目を気にしないでいられる空間 		《交流スペース》 市民が自由に打ち合わせや待合の時間を過ごすことが出来る交流スペースを設置
	分かりやすさ・寛容性		<ul style="list-style-type: none"> ・行きやすい、入りやすい空間 ・自然と目に入る空間 ・散歩のついでに立ち寄れる 			
	活用	居心地の良さ	足を運びたくなる場	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と時間をつぶせる、長居できる場所 ・みんなが行く、集まれる 	《交流スペース》 小規模のイベントなど多目的に利用できる可変性を持った空間構成や設備の整備を検討	
			多世代	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる ・年齢を問わず活用できる ・高齢者が集まれる 		
		参加機会	市民の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・ポラティア活動 		
施設配置	空間	アクセシビリティ	立ち寄りやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ・用事がないと来ない ・学校からの行きやすさ（高校から市役所が遠い） 	—	
			利便性	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場、駐輪場が入り口から近い 		
	連続性	周辺機能との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館と屋内でつながっている ・庁舎と公民館、図書館間の移動が出来る 	《導入機能5 駐車場・駐輪場》 《周辺施設との連携》 社会教育機能と行政機能との連携について検討		
市庁舎のデザイン	空間	デザイン	魅力	<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある建物 	《周辺環境との調和》 眺望環境を活かした砂川らしい建築デザインを検討	
屋外空間	空間	外構	みどりの空間	<ul style="list-style-type: none"> ・芝生・緑の景色が楽しめる ・ベンチで花を見ながらおしゃべりできる場 ・公民館の緑と隣接した場 	《交流スペース》 来庁者が憩いを感じるように、計画敷地内の一部に緑地を確保するなど、限られた屋外空間の有効活用を検討	
			眺望	展望空間		<ul style="list-style-type: none"> ・屋上からの眺望を楽しみたい ・景観を楽しめる場所
	活用	眺望	砂川らしさ	<ul style="list-style-type: none"> ・砂川ならではの眺望、河川近くの景観を楽しみたい ・夕日、外の景観、砂川オリジナルの景観 	《交流スペース》 来庁者が砂川らしい眺望を楽しめるような、眺望スペースの整備を検討	
その他	市庁舎のあり方		将来に対応できる柔軟性	<ul style="list-style-type: none"> ・今の社会的ニーズ、将来のニーズに対応できるように ・既存機能の老朽化を視野に入れた機能構成、空間余地が必要 	《交流スペース》 交流スペースの一部は臨時の行政事務など多目的に利用できる可変性を持った空間構成や設備の整備を検討	
	まちなかとの連携		まちなかとの機能分担・連携（既存機能を活かす・新たな機能をまちなかに生み出す）	<ul style="list-style-type: none"> ・「まちなか」の目線で役割分担を考える ・市民活動の場をまちなかに展開する ・コンサートが出来る、展示スペースになる等、空間の柔軟性がある ・イベントやワークショップで使える ・多世代が参加できるイベント ・病院の待ち合い室との機能連携（市庁舎で呼び出しを待てる） ・女性に人気のあるものを扱っている ・婚活スペース ・企業と若者が出会う場 ・就労体験、インターンシップ ・砂川で暮らし、働くための情報が集まっている（I, Uターンの不安をなくす） 	《周辺施設との連携》 まちなかの施設の機能を有効に利用し、連携かつ機能分担をしながら、効率の良い施設整備を検討	